

第8回薬学教育調査・研究・評価委員会議事録（確定）

日 時 : 令和6年2月26日(月) 13:00~15:10
形 式 : オンライン会議 (Zoom)
場 所 : 薬学教育協議会 事務局 (ホスト会場)
出席者 : 別記1
配布資料 : 別記2

1. 「4年制大学院の在り方」検討小委員会の検討結果について (資料1)

伊藤智先生より資料1に従い、文部科学省委託事業「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究」(令和元年度~令和3年度)の一環として、一般社団法人日本私立薬科大学協会の4年制大学院の在り方検討小委員会において、令和3年度に大学院薬学研究科4年制博士課程に関するアンケート調査を実施した経緯とアンケート解析結果の説明があった。

その後、創薬力を高める方策、大学院の研究テーマ、教員の研究力、研究環境、薬学博士号の条件設定、最近の医学における研究専念時間、薬学研究が幅広いという特徴等について、活発に意見交換がなされた。

2. 「薬学系大学院教育・薬学教員に関する最近の状況」について (資料2)

文部科学省より薬学系大学院教育・薬学教員に関する最近の状況について、資料2に基づき説明があった。薬学系大学院修了者数の推移や進学者数の他、6年制課程における薬学部教育の質保証に関するとりまとめでは、6年制課程を支える教育・研究人材の不足や博士課程に相応しい教育研究が行われているか懸念されており、4年制博士課程の課題等について質・量双方の観点から検証する必要があることについて説明があった。また、薬剤師の養成及び質向上等に関する検討会のとりまとめでは、博士号を持つことの重要性について学生の認知を高めること、薬剤師として働きながら博士号を取得するを行いやすくすること、医療機関や薬局とも連携し社会人入学を支援するシステムを構築すること、薬学をとりまく最新の状況も理解しながら教育すること、最新の臨床現場を理解すること、臨床現場の理解とともに研究能力を持つ学生を育成できるよう教員自らの研究能力を高めること等、教員の育成に向けて長期的な視野での取組が必要と提言されていることについて説明があった。

さらに、大学教員のエフォート資料から大学教員業務時間の構成比率及び週当たり研究業務時間について、また、参考資料1に基づき産業界における博士人材のキャリアの状況についても説明がなされた。

その後、薬学大学院の人材育成について、学会の開催日、博士号取得による業務への影響、労働時間の増加と研究力の低下、教員の必要数、研究領域の関係、臨床と基礎の関係、大学院進学ハードル、大学院へ繋がる6年制課程、社会人大学院生の受け入れ、薬局を経営する会社の理解とサポート体制、大学院教員の不足等について、活発な意見交換が行われた。また、今後の進め方について、若い教員の意見を聞くことや基礎薬学と医療薬学を分けた議論も必要との提案がなされた。

3. その他

1)本間代表より次年度の活動予定について発言がなされた。

- ・今回の資料とご提示いただいたご意見を踏まえ、調査内容を検討すること。
- ・医療施設における学位の在り方についての調査も検討すること。
- ・実態に則した調査の実施を推進したいこと。

2)第9回薬学教育調査・研究・評価委員会開催は、調整の上、連絡することとなった。

議題の予定として

- ・アンケート内容について意見交換
- ・その他

別記1

第8回薬学教育調査・研究・評価委員会（令和6年2月26日開催）

構成委員	氏名（敬称略）	所 属	出欠
専門研究委員会	本間 浩	薬学教育協議会 代表理事	Web
	平田 收正	和歌山県立医科大学薬学部 教授	Web
	小佐野 博史	帝京大学薬学部 名誉教授	Web
	鈴木 匡	名古屋市立大学薬学部 教授	Web
薬学教育協議会推薦	亀井 美和子	帝京平成大学薬学部 学部長	欠席
	後藤 直正	京都薬科大学 前学長	Web
	大津 史子	名城大学薬学部 教授	Web
	伊東 明彦	帝京平成大学薬学部 教授	Web
教科担当教員会議 メンバー代表	高橋 秀依	東京理科大学薬学部 教授	Web
	小澤 孝一郎	広島大学薬学部 教授	Web
	角山 香織	大阪医科薬科大学薬学部 専門教授	Web
	荒田 洋一郎	帝京大学薬学部 教授	欠席
日本薬剤師会	長津 雅則	日本薬剤師会 常務理事	Web
	松浦 正佳	日本薬剤師会 理事	Web
日本病院薬剤師会	石井 伊都子	千葉大学医学部附属病院 薬剤部長	Web
	高田 龍平	東京大学医学部附属病院 薬剤部長	Web
オブザーバー	井上 圭三	帝京大学 副学長	欠席
	伊藤 智夫	特定非営利法人薬学共用試験センター 理事長	Web
		文部科学省高等教育局医学教育課	Web
		厚生労働省医薬局総務課	Web

資料1：文部科学省 令和3年度 「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究」

(日本私立薬科大学協会受託)「薬学研究科4年制大学院の在り方に関する調査研究」

資料2：「薬学系大学院教育・薬学教員に関する最近の状況」

参考資料1：第11期人材委員会審議まとめ

参考資料2：研究に専念する時間の確保